

2023年12月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社レゾナック・ホールディングス

取締役 常務執行役員 CFO

染宮 秀樹

2023年8月8日

RESONAC

1

- ・当第2四半期の売上高は、前年同期比399億円減収の6,161億円
- ・半導体生産調整やデータセンターの需要低迷を受けた半導体・電子材料セグメントが減収
- ・前年に石油化学の定期修繕があったケミカルセグメントは増収

- ・当第2四半期の営業利益は、前年同期比511億円減益となる△132億円
- ・半導体・電子材料の減収やケミカルを受払差のマイナス影響が減益の主要因
- ・前回公表値からは半導体後工程材料の回復を背景に、68億円の改善

2

- ・通期業績予想の売上高は、原油価格下落等によるケミカルセグメントの減収を中心に、前回公表値比700億円減収の12,700億円
- ・営業利益は、セグメント毎の増減はあるも前回公表値から据え置き△200億円

- ・2023年期末の配当金は1株あたり65円を計画

目次

1. 2023年12月期 第2四半期決算
2. 2023年12月期 通期業績予想

連結業績の概要 (前年同期比)

(億円)

項目	2022年 1-6月※1	2023年 1-6月	増減
売上高	6,560	6,161	△ 399
営業利益	380	△ 132	△ 511
営業外損益	98	18	△ 79
経常利益	477	△ 114	△ 591
特別損益	△ 28	△ 36	△ 9
税金等調整前四半期純利益	449	△ 150	△ 599
四半期純利益	384	△ 187	△ 570
親会社株主に帰属する 四半期純利益	326	△ 198	△ 524
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん等償却費)	915	410	△ 504
対売上EBITDA%	13.9%	6.7%	△ 7.3p

参考

継続事業ベース※2

(億円)

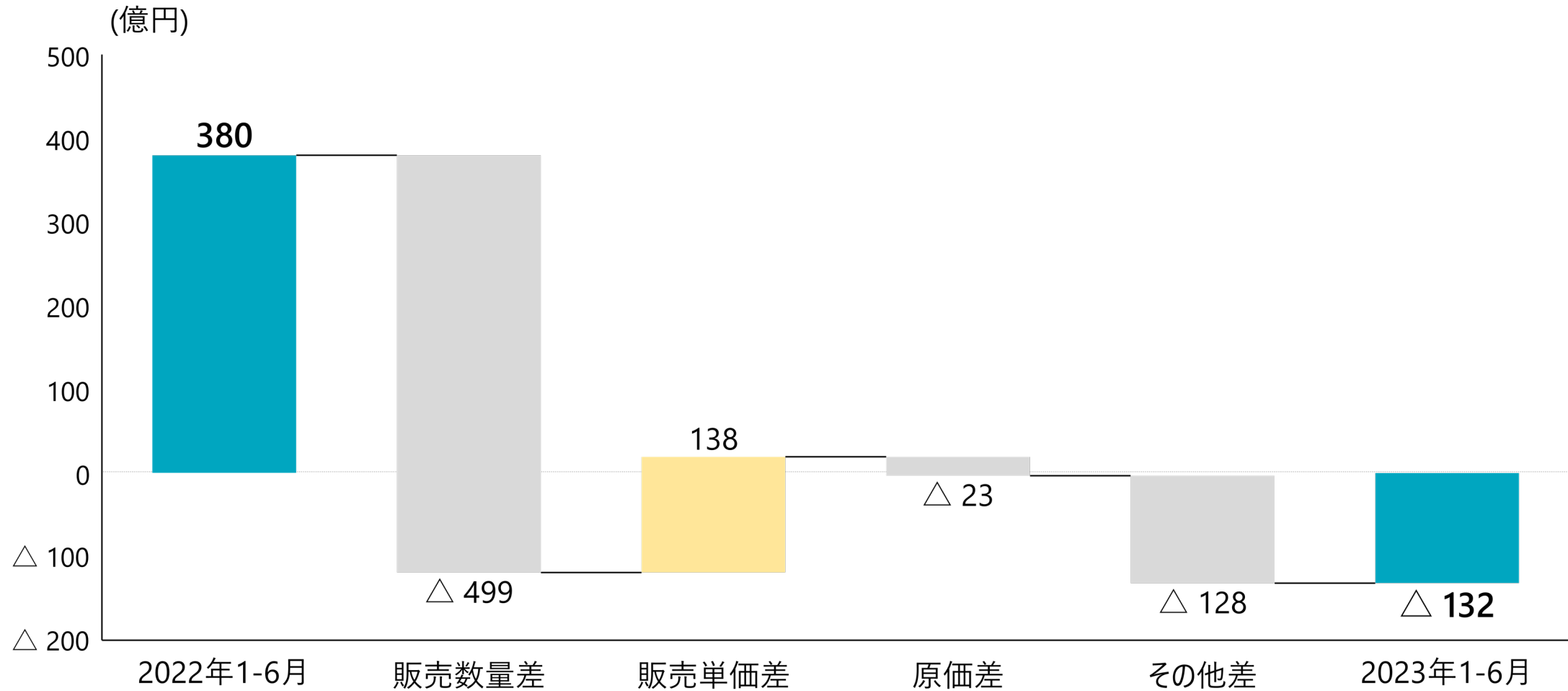
	2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減
売上高	6,494	6,161	△ 333
営業利益	380	△ 132	△ 512

EBITDA	915	410	△ 505
対売上 EBITDA%	14.1%	6.7%	△ 7.4p

※1 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値
他頁の2022年値についても同じ

※2 2022年に事業譲渡したISOLITE GmbHを除いた
参考値 (監査対象外)

連結営業利益差異内訳 (前年同期比)



セグメント別売上高・営業利益・EBITDA (前年同期比)

(億円)

セグメント		2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減	増減率
半導体・電子材料	売上高	2,204	1,534	△ 670	△ 30%
	営業利益	273	△ 131	△ 404	-
	EBITDA	521	133	△ 389	△ 75%
モビリティ	売上高	867	856	△ 11	△ 1%
	営業利益	△ 9	△ 8	2	-
	EBITDA	85	84	△ 1	△ 1%
イノベーション材料	売上高	700	619	△ 81	△ 12%
	営業利益	55	43	△ 12	△ 22%
	EBITDA	97	86	△ 12	△ 12%
ケミカル	売上高	2,245	2,549	304	14%
	営業利益	131	48	△ 83	△ 64%
	EBITDA	215	134	△ 82	△ 38%
その他・調整額	売上高	545	603	58	11%
	営業利益	△ 70	△ 83	△ 13	-
	EBITDA	△ 4	△ 26	△ 22	-
合計	売上高	6,560	6,161	△ 399	△ 6%
	営業利益	380	△ 132	△ 511	-
	EBITDA	915	410	△ 504	△ 55%

セグメント別サマリー (半導体・電子材料) (前年同期比)

RESONAC

(億円)

項目	2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減	増減率	業績概況
売上高	2,204	1,534	△ 670	△ 30%	前年後半からの需要低迷が継続し、大幅減収。 HDメディアの棚卸資産において、低価法による簿価切り下げや廃棄損を計上したこともあり、営業赤字
半導体前工程材料	479	395	△ 83	△ 17%	
半導体後工程材料	981	727	△ 254	△ 26%	
デバイスソリューション	570	258	△ 312	△ 55%	
その他	174	154	△ 20	△ 12%	・半導体前工程材料: 当期から半導体前工程の生産調整の影響が生じ、電子材料用高純度ガス、CMPスラリーとともに減収 ・半導体後工程材料: 半導体後工程の生産調整の影響が継続し、主要製品全て減収 ・デバイスソリューション: HDメディアはデータセンター向け需要低迷が継続し、大幅減収。SiCエピタキシャルウェハは出荷数量増で増収
営業利益	273	△ 131	△ 404	-	
EBITDA	521	133	△ 389	△ 75%	
対売上EBITDA%	23.6%	8.6%	△ 15.0p	-	

主要製品

- 半導体前工程材料: 電子材料用高純度ガス、半導体回路平坦化用研磨材料(CMPスラリー)
- 半導体後工程材料: エポキシ封止材、ダイボンディング材料、銅張積層板、感光性フィルム、感光性ソルダーレジスト
- デバイスソリューション: HDメディア、SiCエピタキシャルウェハ、化合物半導体(LED)

セグメント別サマリー (モビリティ) (前年同期比)

(億円)

項目	2022年 1-6月※	2023年 1-6月	増減	増減率	業績概況
売上高	867	856	△ 11	△ 1%	<p>自動車部品は新規車種向け製品の立上により増収。リチウムイオン電池材料は一部製品で民生需要低迷の影響を受けたことで減収</p> <p>・自動車部品: 新規車種向け製品の立上や北米地域における自動車生産の回復により、樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品それぞれ増収</p> <p>・リチウムイオン電池材料: 正負極用導電助剤、カーボン負極材は増収となったものの、民生需要の低迷により、アルミラミネートフィルム(SPALF)が減収</p>
自動車部品	693	708	15	2%	
リチウムイオン電池材料	166	147	△ 20	△ 12%	
その他	8	2	△ 6	△ 72%	
営業利益	△ 9	△ 8	2	-	
EBITDA	85	84	△ 1	△ 1%	
対売上EBITDA%	9.8%	9.8%	0.1p	-	

主要製品

- 自動車部品: 樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品
- リチウムイオン電池材料: アルミラミネートフィルム(SPALF)、正負極用導電助剤、カーボン負極材

※2022年に事業譲渡したISOLITE GmbH含み

セグメント別サマリー (イノベーション材料) (前年同期比)

(億円)

項目	2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減	増減率	業績概況
売上高	700	619	△ 81	△ 12%	原材料価格高騰に伴う値上げにより製品販売価格は上昇したものの、数量減により減収減益
営業利益	55	43	△ 12	△ 22%	
EBITDA	97	86	△ 12	△ 12%	
対売上EBITDA%	13.9%	13.8%	△ 0.1p	-	

主要製品

- 樹脂材料、機能性化学品、コーティング材料、セラミックス、アルミ機能部材

セグメント別サマリー (ケミカル) (前年同期比)

RESONAC

(億円)

項目	2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減	増減率	業績概況
売上高	2,245	2,549	304	14%	<p>・石油化学: 前年は4年に一度の定修による停止があったため大幅な増収となるも、受払差のマイナス影響により減益</p> <p>・化学品: 原燃料上昇に対応した価格転嫁が進み増収増益</p> <p>・黒鉛電極: 前年比で出荷数量は減ったものの、原価上昇にキャッチアップした値上げにより増収、受払差のマイナス影響により減益</p>
石油化学	1,325	1,535	210	16%	
化学品	372	407	34	9%	
黒鉛電極	546	599	53	10%	
その他	1	8	7	593%	
営業利益	131	48	△ 83	△ 64%	
EBITDA	215	134	△ 82	△ 38%	
対売上EBITDA%	9.6%	5.2%	△ 4.3p	-	

主要製品

- 石油化学: オレフィン、有機化学品
- 化学品: 基礎化学品、産業ガス

営業外損益内訳

(億円)

項目	2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減
金融収支	△ 33	△ 56	△ 23
持分法投資損益	23	19	△ 4
為替差益	125	72	△ 53
その他	△ 17	△ 17	0
営業外損益 計	98	18	△ 79

特別損益内訳

(億円)

項目	2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減
固定資産売却益	3	15	12
固定資産除売却損	△ 18	△ 22	△ 3
減損損失	△ 2	△ 30	△ 28
その他	△ 11	0	11
特別損益 計	△ 28	△ 36	△ 9

連結貸借対照表

(億円)

資産	2022年 12月末※1	2023年 6月末	増減	負債・純資産	2022年 12月末※1	2023年 6月末	増減
現預金	1,873	1,768	△ 105	営業債務	1,941	1,714	△ 227
営業債権	2,653	2,519	△ 134	有利子負債	10,626	10,552	△ 74
たな卸資産	2,505	2,490	△ 14	その他負債	2,623	2,445	△ 178
その他流動資産	840	614	△ 226	負債計	15,190	14,711	△ 479
流動資産計	7,870	7,392	△ 479	株主資本計	4,446	4,127	△ 319
有形固定資産計	6,781	6,934	153	(内、利益剰余金)	1,659	1,340	△ 319
無形固定資産計	4,937	4,796	△ 140	その他の包括利益累計額計	1,057	1,360	302
(内、のれん)	2,954	2,873	△ 81	(内、その他有証評価差額金)	4	2	△ 1
(内、その他無形固定資産)	1,983	1,923	△ 60	(内、為替換算調整勘定)	720	1,039	319
投資その他の資産計	1,350	1,332	△ 17	非支配株主持分	244	257	13
固定資産計	13,067	13,062	△ 5	純資産計	5,747	5,743	△ 4
資産合計	20,937	20,454	△ 483	負債・純資産合計	20,937	20,454	△ 483

主要指標

ネットD/Eレシオ (倍)※2	1.07	1.08	0.01p	自己資本比率 (%)※3	26.3	26.8	0.5p
-----------------	------	------	-------	--------------	------	------	------

※1 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。他頁の2022年値についても同じ

※2 {(借入金 + コマーシャルペーパー + 社債 + リース債務) - 現金及び預金 - 劣後ローン×50%} ÷ (自己資本 + 劣後ローン×50%)

劣後ローン(借入金に含まれる)の50%の資本性は、2020年4月27日付の㈱日本格付研究所の格付に基づく

※3 {(純資産計 - 非支配株主持分)/負債・純資産合計} x 100

目次

1. 2023年12月期 第2四半期決算
2. 2023年12月期 通期業績予想

2023年連結業績予想

RESONAC

(億円)

項目	2022年 通期実績※1	2023年 通期予想※2	増減	2023年通期予想※2		2023年 前回予想※3
				上期実績	下期予想	
売上高	13,926	12,700	△ 1,226	6,161	6,539	13,400
営業利益	617	△ 200	△ 817	△ 132	△ 68	△ 200
営業外損益	△ 0	△ 60	△ 60	18	△ 78	△ 110
経常利益	617	△ 260	△ 877	△ 114	△ 146	△ 310
特別損益	△ 108	△ 100	8	△ 36	△ 64	△ 170
税金等調整前当期純利益	509	△ 360	△ 869	△ 150	△ 210	△ 480
当期純利益	397	△ 350	△ 747	△ 187	△ 163	△ 430
親会社株主に帰属する 当期純利益	324	△ 370	△ 694	△ 198	△ 172	△ 460
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん等償却額)	1,705	882	△ 823			
対売上EBITDA%	12.2%	6.9%	△ 5.3p			
ROIC ((営業利益+持分法投資損益-法人税)÷ (有利子負債+純資産))	3.3%	△1.1%	△ 4.4p			
1株当たり当期純利益	179円02銭	△204円27銭	△383円30銭			
1株当たり配当金	65円	65円	-			

※1 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。
他頁の2022年値についても同じ

※2 2023年8月8日公表

※3 2023年5月15日公表

2023年セグメント別売上高・営業利益予想

RESONAC

(億円)

セグメント	項目	2023年 今回予想※ ¹				
		1Q実績	2Q実績	上期実績	下期予想	通期予想
半導体・電子材料	売上高	694	840	1,534	1,716	3,250
	営業利益	△ 104	△ 27	△ 131	△ 69	△ 200
モビリティ	売上高	425	431	856	944	1,800
	営業利益	△ 5	△ 3	△ 8	△ 2	△ 10
イノベーション材料	売上高	300	319	619	681	1,300
	営業利益	20	23	43	47	90
ケミカル	売上高	1,271	1,278	2,549	2,601	5,150
	営業利益	39	9	48	92	140
その他・調整額	売上高	299	304	603	597	1,200
	営業利益	△ 43	△ 41	△ 83	△ 137	△ 220
合計	売上高	2,989	3,172	6,161	6,539	12,700
	営業利益	△ 92	△ 40	△ 132	△ 68	△ 200

2022年実績			
下期実績	増減	通期実績	増減
2,068	△ 352	4,272	△ 1,022
182	△ 251	455	△ 655
939	4	1,806	△ 6
2	△ 4	△ 7	△ 3
711	△ 30	1,411	△ 111
46	1	101	△ 11
3,033	△ 432	5,278	△ 128
118	△ 26	249	△ 109
615	△ 18	1,159	41
△ 111	△ 26	△ 181	△ 39
7,366	△ 827	13,926	△ 1,226
238	△ 306	617	△ 817

※ 2023年8月8日公表

2023年セグメント別売上高・営業利益予想

RESONAC

(億円)

セグメント	項目	2023年 今回予想※1			2023年 前回予想※2					
		上期実績	下期予想	通期予想	上期予想	増減	下期予想	増減	通期予想	増減
半導体・電子材料	売上高	1,534	1,716	3,250	1,500	34	2,000	△ 284	3,500	△ 250
	営業利益	△ 131	△ 69	△ 200	△ 200	69	△ 20	△ 49	△ 220	20
モビリティ	売上高	856	944	1,800	900	△ 44	900	44	1,800	-
	営業利益	△ 8	△ 2	△ 10	△ 15	7	△ 10	8	△ 25	15
イノベーション材料	売上高	619	681	1,300	700	△ 81	700	△ 19	1,400	△ 100
	営業利益	43	47	90	40	3	40	7	80	10
ケミカル	売上高	2,549	2,601	5,150	2,700	△ 151	2,800	△ 199	5,500	△ 350
	営業利益	48	92	140	80	△ 32	110	△ 18	190	△ 50
その他・調整額	売上高	603	597	1,200	600	3	600	△ 3	1,200	-
	営業利益	△ 83	△ 137	△ 220	△ 105	22	△ 120	△ 17	△ 225	5
合計	売上高	6,161	6,539	12,700	6,400	△ 239	7,000	△ 461	13,400	△ 700
	営業利益	△ 132	△ 68	△ 200	△ 200	68	0	△ 68	△ 200	-

※1 2023年8月8日公表

※2 2023年5月15日公表

モビリティ事業について、構造改革の骨子と時間軸を具体化

モビリティ 事業

1. 「構造改革推進室」による事業仕分け

- ▶ 選択と集中を通じた収益性改善のため、事業の仕分けを実施
各事業のポートフォリオ上の位置付けを明確化

2. 拠点統廃合の推進

- ▶ 固定費削減と資産スリム化のため、樹脂成形品関西拠点の統廃合を実施
海外製造拠点についても同様に検討

3. 不採算の「製品×顧客組み合わせ」の値上げ・撤退

- ▶ 赤字品目のうち重点47品目を選定。2024年からの収益改善を目指し、
該当品目の値上げ・撤退交渉を2023年中にやり切る

抜本的な収益体質改善に向け、構造改革を着実に推進中

HDメディア事業

・生産規模・人員規模の最適化

- ▶ 年内での生産規模2割縮小に加え、更なる需要下振れを見据えた追加施策を検討

・滞留懸念在庫処分

- ▶ 上期に約40億の在庫処分を行い、滞留懸念在庫を一掃

全社横断

赤字製品の撲滅

・国内取引を中心にリストアップした、不採算の「製品×顧客組み合わせ」に対する収益改善

▶ リストアップ品目※の2023年6月末時点の取組状況

値上げ・撤退等取組中	28% (うち79%が2023年12月末までに完了予定)
------------	------------------------------

収益改善施策完了	52%
----------	-----

※本集計上、別掲のモビリティ・HDメディア事業、市況影響の大きい石油化学事業は除く

Appendix

連結対象会社 (前期末対比)

連結子会社： 104社 (△4社)

△ 3社: 海外拠点統合関連

△ 1社: 旧日立化成(株)買収SPC 吸収合併による消滅 (HCホールディングス株式会社)

持分法適用会社： 12社 (△1社)

主要諸元

(期中平均)

	2022年		2023年		
	1-6月	通期実績	1-6月	7-12月 予想	通期予想
為替レート					
(円/US\$)	122.9	131.4	134.9	135.0	135.0
	2022年6月 期末レート:136.7	2022年12月 期末レート:132.7	2023年6月 期末レート:145.0		
(円/€)	134.3	138.0	145.8	140.0	142.9
国産ナフサ (円/KL)	75,350	76,150	67,000	64,000	65,500

(億円)

	2022年 1-6月※	2023年 1-6月	増減	2022年 通期実績※	2023年 通期予想	増減
営業キャッシュ・フロー	216	481	265	998	930	△ 68
投資キャッシュ・フロー	△ 366	△ 451	△ 85	△ 547	△ 1,010	△ 463
フリー・キャッシュ・フロー (営業CF + 投資CF)	△ 151	29	180	451	△ 80	△ 531
財務キャッシュ・フロー	△ 179	△ 235	△ 56	△ 1,033	△ 140	893
その他	202	100	△ 102	100	△ 100	△ 200
現金及び現金同等物増減額	△ 128	△ 106	22	△ 481	△ 320	161

※ 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。他頁の2022年値についても同じ

(億円)

セグメント	2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減	2022年 通期実績	2023年 通期予想	増減
半導体・電子材料	231	189	△ 42	443	501	58
モビリティ	41	42	0	89	121	32
イノベーション材料	34	26	△ 8	76	79	4
ケミカル	96	80	△ 15	195	182	△ 13
その他	122	53	△ 68	268	196	△ 72
合計	524	391	△ 133	1,071	1,079	9

(億円)

	2022年 1-6月実績※1	2023年 1-6月実績	増減	2022年 通期実績※1	2023年 通期予想	増減
設備投資	524	391	△ 133	1,071	1,079	9
減価償却費 (PPA、のれん償却額除く)	372	378	6	761	753	△ 8
PPA償却費	79	79	0	159	159	0
のれん償却額	84	84	0	168	170	2
研究開発費	229	209	△ 20	471	442	△ 29
金融収支	△ 33	△ 56	△ 23	△ 139	△ 118	21
優先株配当	△ 54	-	54	△ 54	-	54
ネットD/Eレシオ _(倍) ※2	1.07	1.08	0.01	1.07	1.25	0.18

※1 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。他頁の2022年値についても同じ

※2 $\{(借入金 + コマースシャルペーパー + 社債 + リース債務) - 現金及び預金 - 劣後ローン \times 50\% \} \div (自己資本 + 劣後ローン \times 50\%)$

劣後ローン(借入金に含まれる)の50%の資本性は、2020年4月27日付の(株)日本格付研究所の格付に基づく

セグメント別減価償却費・のれん償却額

(億円)

セグメント		2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減	2022年 通期実績	2023年 通期予想	増減
半導体・電子材料	減価償却費(PPA除く)	120	135	16	249	278	29
	PPA償却費	62	62	-	124	124	△ 0
	のれん償却額	66	66	-	133	133	0
モビリティ	減価償却費(PPA除く)	73	71	△ 2	150	135	△ 15
	PPA償却費	11	11	-	21	21	0
	のれん償却額	11	11	-	21	21	△ 0
イノベーション材料	減価償却費(PPA除く)	34	34	△ 0	69	65	△ 4
	PPA償却費	4	5	0	9	9	0
	のれん償却額	4	4	0	8	8	0
ケミカル	減価償却費(PPA除く)	83	84	2	170	166	△ 4
	PPA償却費	1	1	0	3	3	0
	のれん償却額	0	0	0	0	2	2
その他	減価償却費(PPA除く)	62	54	△ 9	123	108	△ 15
	PPA償却費	1	1	-	2	2	0
	のれん償却額	3	3	0	6	6	0
継続事業ベース※ 合計	減価償却費(PPA除く)	372	378	6	761	753	△ 8
	PPA償却費	79	79	0	159	159	0
	のれん償却額	84	84	0	168	170	2
非継続事業	減価償却費(PPA除く)	-	-	-	-	-	-
	PPA償却費	-	-	-	-	-	-
	のれん償却額	-	-	-	-	-	-
合計	減価償却費(PPA除く)	372	378	6	761	753	△ 8
	PPA償却費	79	79	0	159	159	0
	のれん償却額	84	84	0	168	170	2

※ 2022年に事業譲渡したISOLITE GmbHを除いた参考値(監査対象外)

(億円)

項目	2023年 1-3月	2023年 4-6月	増減
売上高	2,989	3,172	183
営業利益	△ 92	△ 40	52
営業外損益	△ 17	35	52
経常利益	△ 109	△ 4	105
特別損益	△ 38	2	40
税金等調整前四半期純利益	△ 147	△ 2	145
四半期純利益	△ 112	△ 74	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 123	△ 76	47
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん等償却費)	179	232	53
対売上EBITDA%	6.0%	7.3%	1.3p

(億円)

セグメント		2022年※1				
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	通期実績
半導体・電子材料	売上高	1,073	1,130	1,120	948	4,272
	営業利益	132	141	132	50	455
モビリティ	売上高	412	389	450	457	1,708
	営業利益	3	△ 12	1	7	△ 1
イノベーション材料	売上高	343	357	356	355	1,411
	営業利益	29	26	21	25	101
ケミカル	売上高	951	1,295	1,525	1,508	5,278
	営業利益	22	109	62	56	249
その他	売上高	269	276	299	315	1,159
	営業利益	△ 30	△ 40	△ 42	△ 68	△ 181
継続事業ベース※2 合計	売上高	3,048	3,446	3,749	3,585	13,828
	営業利益	156	224	174	70	624
非継続事業	売上高	32	34	32	0	98
	営業利益	2	△ 2	△ 6	0	△ 7
合計	売上高	3,080	3,480	3,781	3,585	13,926
	営業利益	158	222	168	70	617

※1 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。他頁の2022年値についても同じ

※2 2022年に事業譲渡したISOLITE GmbHを除いた参考値(監査対象外)

セグメント	トピックス
全社	レゾナックグループ、本社オフィスを統合・移転
半導体・ 電子材料	半導体パッケージ用接着フィルムの生産能力を約1.6倍に増強
	次世代半導体パッケージ技術開発のコンソーシアム「JOINT(ジョイント)2」の提案力アップ ～露光装置メーカー「オーク製作所」参画により、最先端の後工程技術が集結し増強～
モビリティ	射出発泡成形品が「レクサスRZ」外装樹脂部品に採用
ケミカル	AMI Automation株式を100%取得
	水道向け次亜塩素酸ソーダの生産能力増強を決定

ニュースリリース

詳細は各ニュースリリースをご参照ください。

<https://www.resonac.com/jp/news>

注意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。

なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、国際情勢、ナフサ等原材料価格、黒鉛電極等製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。